



校長室だより

# きまがせ



令和7年4月18日  
野田市立木間ヶ瀬小学校  
校長 大島 恵子

## 令和7年度は、全校児童138名でスタートしました！

19名のかわいい新入生を迎える、4月9日に令和7年度木間ヶ瀬小学校入学式が無事に行われました。全校児童数は昨年度に比べ、やや減少しましたが、子どもたちからは元気なパワーがたくさん生み出されていて、校内はやる気に満ち溢れています。1年生の給食も始まりました。新しい学年で、学習内容もレベルアップする中、学校生活において何か不安に感じることがありましたら、遠慮せずにご相談ください。

### 取り組み②「学ぶ楽しさを実感し、確かな学力につなげる子」を育てるために

新学期2日目より校長室を訪ねてくる児童がいます。今使用している家庭学習帳が終了した児童です。自分なりに内容を工夫したり、苦手な漢字や計算を繰り返し行ったりし、ノートを1冊終えたのです。皆、生き生きとした表情で校長室にやってきます。校長室では、児童に次に使用するノートを渡します。同じマス目でも、数種類ノートがあるので、選ぶ楽しさがあります。(PTA会費での購入です。ありがとうございます。) 私も児童と話をする楽しい時間もあります。

ご家庭での声掛け、見守りをお願いします。何を行っていいか迷った方は、ぜひ下記、また裏面をお読みいただき、子どもたちに前向きな励ましをお願いします。

家庭学習はつまり、家庭で行う学習のことです。その内容は、「宿題」と「自主学習」が考えられます。子どもたちの将来を見据えたとき、「毎日家庭で、机に向かう学習習慣を身につける」ことが大切であると考え、学校では、学年×10分+10分、毎日継続することを薦めています。

まずは、出された「宿題」、次に、自分で決めた内容「自主学習」をする習慣を身につけることから始めます。個人によって、宿題を終わらせるまでにかかる時間が違えば、自主学習に取り組める時間も異なります。興味関心をもつポイントも一人一人違います。大事なことは、繰り返しになりますが、「毎日家庭で、机に向かう学習習慣を身につける」ことです。そして、それが「自ら楽しみながら」取り組めれば、さらに理想的です。今後、私たち職員は、様々な場面で、「学びたい」「知りたい」「関わりたい」という『学びの種』をまいていきたいと考えています。新しいことを知るのは、楽しいものです。学ぶことの楽しさを、学校でも家庭でも、子どもたちに伝えていければと思います。

そして、裏面に、こんな内容に取り組んでみるのもよいという例を載せましたので、参考にしてください。

## 【自主学習のメニュー例】

学校の授業や学習内容に直接関わるもの	自分が好きなことや興味のあること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字の練習</li> <li>・習った漢字を使った熟語や文章作り</li> <li>・漢字テストの勉強</li> <li>・計算ドリルや教科書の問題解答</li> <li>・文章問題作りと解答、説明</li> <li>・国算理社の教科書で復習</li> <li>・国算理社の教科書の予習</li> <li>・教科書の言葉の意味調べ</li> <li>・俳句や短歌、詩、好きな本の文章などの視写</li> <li>・テストの解き直し</li> <li>・次のテストへの備え</li> <li>・理科の実験手順や道具のまとめ</li> <li>・社会の教科書や資料集を使った学習範囲のまとめ</li> <li>・都道府県の情報のまとめ</li> <li>…など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日記や作文、読書感想文</li> <li>・おすすめの本の紹介文</li> <li>・ことわざや四字熟語調べ</li> <li>・百人一首調べ</li> <li>・テーマに沿った言葉集め</li> <li>・新聞やテレビのニュースを見た自分の考え</li> <li>・動植物の観察 (スケッチをして気づいたこと等)</li> <li>・地域学習（野田市や千葉県、日本について）</li> <li>・木間ヶ瀬小の歴史調べ</li> <li>・歴史上の人物や偉人、有名人調べ</li> <li>・世界の国々調べ</li> <li>・学校行事について調べ、それに向けての意気込みと、自分がすることのまとめ</li> <li>・家庭科や体育の実践報告文、感想文</li> <li>・体育の様々な種目の攻略法（絵と文で考える）</li> <li>・英語の文や言葉と意味を丁寧に書く</li> <li>・その他好きなものについて深く調べまくる！</li> <li>…など</li> </ul>

☆「継続は力なり」という通り、望ましい学習習慣を定着させるために、お子さんの頑張りを認め、できたことをほめていただきますよう、お願いします。

☆「答え合わせをすること」は学力を定着させる上でとても大事なことです。

- ・合っていたところは、すでに身についているところ
- ・間違えたところは、「なぜ間違えたのだろう。」と考えることから、本当の勉強が始まります。